

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	キャリアデザインⅡ	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	34	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	キャリアコンサルタント有資格者としての実務経験を活かし、学生の進路について指導を行う	
授業の目的	将来的なキャリアプランを考え、就職活動にスムーズに取り組めるように企業研究を行い、自己の適性や能力とのマッチングが自ら行えるようになる。	
期間目標	前期	将来的なキャリアプランの作成および、就職活動、企業研究
	後期	自己の適性や能力と、希望する就職先とのマッチングが自ら行えるようになる
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	自己理解(強み、弱みの分析)	3
5月	他者理解(コンセンサスの理解)	3
6月	グループ討議対策	4
7月	自己PR 志望動機の作成	3
8月		
9月	応募書類作成・面接代作・キャリアプラン作成	4
10月	応募書類作成・面接代作・キャリアプラン作成	4
11月	応募書類作成・面接代作・キャリアプラン作成	4
12月	社会人基礎力の向上	4
1月	社会人基礎力の向上	3
2月	キャリアゴール及びキャリアパスの設定	2
3月		
合計		34
到達目標	日本で生き抜くための必須能力を学習し身につけていく手段を考える	
成績評価基準	①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う ②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満 ③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	プレゼンテーション実習	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	34	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	企業での実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	ビジネスコミュニケーションの基本となる「伝える」能力を育成する。日常的に人前で話す訓練を繰り返すことで、接客サービスの場面での会話能力を向上させる。	
期間目標	前期	資料作成から、発表、発声の仕方など、プレゼン基礎を学ぶ
	後期	プレゼンテーション制作・発表を繰り返し、実践力を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	プレゼン資料作成の基礎	3
5月	発表の方法、発声、話し方	3
6月	自己紹介プレゼン制作、発表	4
7月	グループプレゼン制作、発表	3
8月		
9月	課題プレゼン制作、発表	4
10月	課題プレゼン制作、発表	4
11月	課題プレゼン制作、発表	4
12月	課題プレゼン制作、発表	4
1月	課題プレゼン制作、発表	3
2月	課題プレゼン制作、発表	2
3月		
合計		34
到達目標	接客サービスの場面での会話能力を向上させる	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試験受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ビジネス語学 応用	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
授業の目的	日本語能力試験(N2)の取得及びTOEIC(600点以上)の取得を目指し、ビジネスシーンに必要な語学力のブラッシュアップを目指す	
期間目標	前期	就職に必要な日本語能力試験に目標を立てる
	後期	日本語以外の語学習得に各自目標を立てる
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	日本語能力試験 N2 対策	6
5月	日本語能力試験 N2 対策	6
6月	日本語能力試験 N2 対策	8
7月	日本語能力試験 N2 対策	6
8月		
9月	日本語能力試験 N1 対策	8
10月	日本語能力試験 N1 対策	8
11月	日本語能力試験 N1 対策	8
12月	TOEIC 対策	8
1月	TOEIC 対策	6
2月	TOEIC 対策	4
3月		
合 計		68
到達目標	TOEIC(600点以上)、日本語能力試験(N2以上)	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・(実習)	
科目名	IT応用	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	136	
担当教員名		
実務経験	(有)・無	
	一般企業でのOA事務およびパソコンスクール等における指導経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	officeソフトを用いて、複雑なデータ分析による資料作成や社交文書の作成、顧客へのメール対応など、より実践的なIT技術を身につける	
期間目標	前期	日本語ワープロ、表計算の検定合格
	後期	上位ランクの検定合格
使用教材	日本語ワープロ:2級~1級 文書デザイン:2級~1級 表計算:2級~1級 プレゼン:3級 テキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	文書デザイン 2級、日本語ワープロ 2級	12
5月	文書デザイン 2級、日本語ワープロ 2級	12
6月	文書デザイン 2級、日本語ワープロ 2級	16
7月	表計算 2級	12
8月		
9月	表計算 2級	16
10月	表計算 2級	16
11月	文書デザイン、日本語ワープロ 上位級	16
12月	表計算 上位級	16
1月	プレゼン 2級	12
2月	プレゼン 2級	8
3月		
合 計		136
到達目標	パソコンの基本操作の習得およびパソコン関連検定3級の取得	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	料飲サービス 応用	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	136	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	1年次の基本を元に、あらゆる場面において対応できる知識・技術を学び、お客様に喜んでいただけるサービスを提供できるようになる。	
期間目標	前期	様々な部門でのサービスの違いを学ぶ
	後期	料飲サービスのプロとしての振る舞いを身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	バー・ラウンジの概要	12
5月	酒の基礎知識	12
6月	カクテルの基礎知識	16
7月	ワインの基礎知識	12
8月		
9月	ソムリエの職務	16
10月	テーブルマナー	16
11月	食品衛生と食物アレルギー	16
12月	レストラン総括	16
1月	宴会サービス総括	12
2月	バー・ラウンジ総括	8
3月		
合計		136
到達目標	料飲サービスのプロとしての振る舞いを身につけ、お客様に喜んでいただけるサービスを提供できるようになる	
成績評価基準	<p>① 評価は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	(講義)・(実習)	
科目名	ホテルマネジメントⅡ	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	136	
担当教員名		
実務経験	(有)・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	1年次に学んだ基礎知識に加え、日々の運営での課題や経営課題を解決する力、業務の全体的なオペレーションを管理する力など、より実践に即した知識を学ぶ	
期間目標	前期	ホテルに関する様々な職種を理解する
	後期	ホテルでのあらゆる接客技術を身につける
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	ドアマン業務(お客さまの送迎、玄関周辺での業務、バレーサービス、演習)	12
5月	ベルマン業務 ①接客サービス	12
6月	ベルマン業務 ②ロビー管理、演習	16
7月	ベルマン業務 ③その他業務	12
8月		
9月	クローク業務(クロークルームの整理と準備、作業手順、演習)	16
10月	ハウスキーピング業務 ①客室についての知識	16
11月	ハウスキーピング業務 ②作業手順、演習	16
12月	ハウスキーピング業務 ③接客サービス	16
1月	コンシェルジュ業務 ①コンシェルジュ業務、演習	12
2月	コンシェルジュ業務 ②必要な資質と知識	8
3月		
合 計		136
到達目標	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を身につける	
成績評価基準	①評価は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う ②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満 ③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試験受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ブライダルプランナー	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ブライダルプランナーとしての経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	ブライダル全般に関する基礎知識を学ぶ	
期間目標	前期	ウェディングの基本的知識を学ぶ
	後期	国や宗教による違いを理解し、対応できる
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	ウェディングとは(ウェディングに求められること、プランナーに求められること)	6
5月	信頼と説得力を得るための方法(ビジネスマナー)	6
6月	新規接客(新規接客の重要性、新規接客の流れ)	8
7月	新規接客(アプローチの仕方、申込手続き、事務処理)	6
8月		
9月	新規接客(新規接客復習、演習)	8
10月	プランニング(打合せスケジュール、打合せ項目)	8
11月	プランニング(打合せ項目、提携業者、作成資料)	8
12月	プランニング(ケーススタディ、演習)	8
1月	挙式当日のプランナーの動き(タイムテーブル、プランナーの役割)	6
2月	挙式当日のプランナーの動き(アテンダーとは、ディレクターとは、演習)	4
3月		
合 計		68
到達目標	ウェディングの基本的知識を習得し、あらゆるお客様に対応できるようになる。	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	国内観光地理	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	旅行業務管理者として実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	日本国内各地の所在地や観光資源、地域特性などを学ぶ。	
期間目標	前期	日本各地の特性を学ぶ(沖縄・九州・四国・中国)
	後期	日本各地の特性を学ぶ(関西～北海道)
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	各地の特性 沖縄	6
5月	各地の特性 九州	6
6月	各地の特性 九州	8
7月	各地の特性 四国	6
8月		
9月	各地の特性 中国地方	8
10月	各地の特性 関西	8
11月	各地の特性 北陸・東海	8
12月	各地の特性 関東	8
1月	各地の特性 東北	6
2月	各地の特性 北海道	4
3月		
合 計		68
到達目標	ホテル業界の歴史、分類、現状と課題など、業界で働くために必要な基礎知識を身につける	
成績評価基準	①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う ②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満 ③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試験受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	ホテル演習 実践(職場実習)	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	ホテルでの実務経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	前期・後期に異なる種類の宿泊施設を体験することで、職業選択の幅を広げ、将来の参考とする。	
期間目標	前期	自ら実習先を選択し、手続等を自ら行う
	後期	就職を意識した職場実習を行う
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	ホテル基礎の確認	6
5月	ホテル実習先研究・挨拶・レポート作成	6
6月	ホテル実習	8
7月	実習レポート作成・発表	6
8月		
9月	ホテル実習先研究・挨拶・レポート作成	8
10月	ホテル実習	8
11月	実習レポート作成・発表	8
12月	ホテル実習先研究、挨拶、レポート作成	8
1月	ホテル実習	6
2月	実習レポート作成・発表	4
3月		
合計		68
到達目標	前期・後期に異なる種類の宿泊施設を体験することで、職業選択の幅を広げ、将来の参考とする。	
成績評価基準	<p>① 評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>② 成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90~100点 優=75~89点 良=60~74点 可=40~59点 不可=40点未満</p> <p>③ 追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	

2023年度 年間指導計画書

授業方法	講義・実習	
科目名	デジタルマーケティングⅡ	
必修・選択	必修	
対象学科	ホテルビジネス科 2年	
時間数	68	
担当教員名		
実務経験	有・無	
	一般企業でのデジタルマーケティングの経験を活かし、実務に即した指導を行う	
授業の目的	販売戦略としての効果的なWEBの利用法、その技術を学び、デジタルマーケティングを担える人材になる。	
期間目標	前期	各自が実際にSNS運用を開始する
	後期	マーケティングを考え、目標、フォロワー数をクリアする
使用教材	オリジナルテキスト	
授業計画		
月	指導計画内容	時間数
4月	マーケティングを考えたSNS運用	6
5月	マーケティングを考えたSNS運用	6
6月	マーケティングを考えたSNS運用	8
7月	マーケティングを考えたSNS運用 成果発表(中間報告)	6
8月		
9月	マーケティングを考えたSNS運用	8
10月	マーケティングを考えたSNS運用	8
11月	マーケティングを考えたSNS運用	8
12月	マーケティングを考えたSNS運用 成果発表(中間報告)	8
1月	マーケティングを考えたSNS運用	6
2月	マーケティングを考えたSNS運用 成果発表(最終報告)	4
3月		
合計		68
到達目標	SNSの運用を行い、目標、フォロワー数をクリアする	
成績評価基準	<p>①評定は100点法、(定期試験60点、平常点40点)とする ※平常点は教科担当教員が行う</p> <p>②成績表示は次の区分によって特優・優・良・可・不可の5段階とし、不可は不合格とする。 特優=90～100点 優=75～89点 良=60～74点 可=40～59点 不可=40点未満</p> <p>③追試験 定期試験において40点未満の場合は追試験を行う。科目別出席率が3分の2未満の者は、与えられた課題を期日までに提出し、合格した者のみ追試受験資格を与える。合格と認められた場合は40点の評価とする。(1科目につき3000円を徴収する)</p>	
定期試験受験資格	科目別出席率が3分の2以上の者	